

活力ある町づくりを目指して

「新たな決意と実行」

町民の皆様、あけましておめでとうございませう。

皆様には、ご家族おそろいで希望に満ちた新年をお迎えのことと思ひ、心からお慶び申し上げます。また、日ごろから町の行政運営全般にわたって温かいご理解とご協力をいただき、改めて厚くお礼を申し上げます。

さて、国においては、政権交代が行われ1年が経過しました。今日の「円高」や回復の兆しが見えないデフレ経済の不

況の中で、今こそ政治が責任を果たさなければなりません。

改善の対応として、実効性のある景気対策や雇用対策が迅速かつ的確に機能することが望まれるところであります。

また、国政での「政治主導」の言葉とともに、「地方分権社会」への一層の進展と「地域主権改革」による「地方行政」の在り方に、期待と不安が交錯した年ではなかったかと思ひます。

とりわけ、従来の「国のひもつき補助金」から「一括交付金」への制度改正や

地方交付税の特別枠確保においては、地方行政を預かる者としても非常に期待を寄せていたことではありますが、逆に、これらの事柄は、取りも直さず自治体それぞれが行政運営や経営能力によつては、地域間格差にもつながってくるということもまた認識しておかねばなりません。

そういった中で、町はこれまで、行政改革を強力に推進し財源確保に努力したこともあつて、財政調整基金の積み増しや公債費比率の抑制といった点でも、徐々にその効果が表れてまいりました。

まずは、そうした財政効果などを主な財源として、重点施策として取り組んでいる「こども医療費助成」（中学校3年生までの医療費無料化）や保育料の見直しなどによる子育て支援の強化、加えて若者の定住促進への支援が功を奏して、今年度4月から11月末現在で、56人の人口増という数字が表れてまいりました。これは、本町にとって非常にうれしい明るい話題であつたと思ひます。

また、定住促進を図る意味から、高度情報通信の基盤整備として、町内全域を対象とした「光ブロードバンド」の整備にも取り組む、昨年12月10日（金）からサービスが開始されたところであります。整備完了に伴い、今後は地域間の情報交換をはじめ、企業誘致あるいは各種産業や教育の環境整備、高齢者や要援護者に対するネットワーク体制の確立など、多くの分野において事業効果が表われると考えられ、その成果を大いに期待してまいります。

教育環境では、昨年で統合甲佐小学校の全整備が完了しましたが、いよいよ本年から甲佐中学校の校舎改築に着手します。観光については、今年3月の九州新幹線全線開業に伴い、新たな観光客の誘致と集客力の強化を目指して、現在「やな場」の改修を行つております。

ところで、町では来年度（平成23年度）からの「甲佐町第6次総合計画」策定にあつては、町民の皆様とのワークショップなどを通じて、現在、同策定委員会で策定作業を継続して行つております。その中で、今後町が目指す10年間の指針を定めることといたしてまいります。

少子高齢化の進行に対応した医療・保険・福祉施策の推進や生活関連施設の整備、あるいは資源循環型社会の構築などの環境施策の推進など与えられた課題は数多くありますが、策定した「総合計画」を基本として、具体的には実施計画の中で、それらの問題の解決に向けて、一つひとつ実現させていきたいと思ひます。

本年も、町民の皆様のご期待に添うよう、強い信念と情熱を傾けながら、職員一丸となつて知恵を絞り、そして「町民の皆様が誇れる町づくり」を目指して、引き続き「マニフェスト」にお示しした政策の実現に全力を尽くしてまいります。今後とも、町議会をはじめ町民の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、本年が、輝かしい良き一年となることを心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



甲佐町長 奥名 克美

新年の挨拶

甲佐町議会 議長

中村 幸男

町民の皆様、明けましておめでとうございませう。皆様方には、ご家族お揃いで、輝かしい新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

年頭にあたり、甲佐町議会を代表いたしまして、新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は国の内外において、多くの社会的・経済的に大きな出来事がありました。とりわけアメリカ経済の低迷がわが国経済を直撃し、円高傾向は一段と加速して大きな打撃を与え、国内企業が拠点を海外に移転する動きに一層弾みがつくことが懸念され、バブル崩壊後の就職氷河期の再来と言われるほど新卒者の就職が困難となっております。一方で、明るい話題として7年ぶりに帰還した小惑星探査機「はやぶさ」が、地球には存在しない未知の物質を持ち帰り、今後の解明が待たれます。子どもたちの将来の夢を大きく育む、喜ばしい出来事でございます。

このような情勢の中で、本町におきましては、甲佐小学校整備計画最後の体育館が完成し、学校体育・社会体育の殿堂と

して、子どもたちがたくましく、また、町民の皆様の健康づくりの場として大きな効果が期待されております。また、IT時代の到来に即したブロードバンド・ゼロ地域解消事業の取り組みで、町内全域で光回線の利活用が出来ることとなり、町民の皆様の利便性の向上に大きく寄与することと喜んでいるところでございます。今年には、長年耐震性の問題で建替えが課題となっておりました、甲佐中学校の建設元年となります。安全な教育環境が整備されることは大変喜ばしいことであります。

今後とも行財政改革の更なる推進、農業中心とした産業の振興や、環境、福祉、それぞれの分野での山積する課題の解決に向けて、議会といたしましては、議会に与えられた権限に基づき、町民の皆様の代表であることを強く自覚し、町執行部とともに「甲佐町の活性化」に向け、更に努力をしていく覚悟でございます。

町民の皆様の積極的なご支援、ご協力をお願いいたします。町民の皆様のご多幸を心から祈りいたしまして、新年のご挨拶といたします。



町民の皆様、新しい年を迎え謹んでお慶びを申し上げます。

学校教育や社会教育で、地域の方々のご理解、ご協力頂いていますことに、心から厚く感謝申し上げます。本年も心強いご支援をお願いします。

さて、教育の根幹となす教育基本法が、戦後初めて平成18年12月に60数年ぶりに改訂され、それに伴い、生涯学習振興法、学校教育法、社会教育法等々の教育関連法が次々と改正されました。

学校教育については、学習指導内容の規定に基づき、学習指導要領を国が定め、一定の教育水準を確保し、全国どこでも教育を受ける機会を保障しなければならぬことになっていきます。

甲佐町教育の新たな取り組みについて

甲佐町教育長
溜渕 誠也



この学習指導要領は、約10年ごとに改訂されており、平成20年3月に改訂された小・中学校の全面実施の時期は、小学校が平成23年度、中学校は平成24年度になります。

これからますます変化の激しい時代を担う甲佐の子どもたちには、知育・徳育・体育のバランスのとれた「生きる力の育成」が必要となってくると予想されます。

このため、改訂された学習指導要領に基づいて、「生きる力を育む」との理念を実現するために、甲佐町教育委員会で「甲佐町教育振興計画（概要版）」を策定し実践に活かすことにしています。この教育プランは、学校・家庭・地域での教育力の向上に向け、総合的に連携・協力し、子どもの夢の実現へ繋げたいと考えます。

今後とも、21世紀を担う甲佐っ子が、心豊かに健やかに成長するよう甲佐の教育を推進して参ります。